

令和4年度 認定心電検査技師資格登録更新の案内

日臨技認定センターの認定資格は5年毎（令和2年度を除く）の更新が必要であり、更新手続きは認定期間の最終年度に行われます。認定心電検査技師資格の更新希望者は、下記の要領に従い更新手続きをされるようご案内いたします。

本更新を行わない場合は認定資格は失効となり、再取得するためには認定試験を再度受験していただくことになります。

尚、平成30年度第12回試験より、筆記試験のほかに実技試験を加えて運営しており、実技試験導入前の認定資格取得者が資格更新を申請するためには実技試験に相当する内容を含んだ研修会の受講が必須要件となっております。（未受講の場合は認定資格を更新できません）

事情により更新できない場合は、更新延免申請書を更新申請期間内に郵送にて提出してください。

更新対象者

認定心電検査技師の資格を取得している者で、認定期間の最終年度の者。

有効期間の確認方法：会員専用サイト⇒日臨技会員メニュー⇒会員情報確認⇒日臨技認定資格歴

更新申請要件

下記のすべてを満たしていること。

- 1) 日本臨床衛生検査技師会会員を継続していること。
- 2) 日臨技生涯教育研修制度の履修を認定期間内に修了していること。
- 3) 認定期間内に下記の①から③において合計30単位以上を取得していること。
 - ① 認定センター主催の認定心電検査技師育成研修会またはセミナー研修会の参加 (10単位)
 - ② 事前登録により認定センターが承認した認定センター単位承認研修会 (10単位)
 - ③ ①、②以外の心電図検査に関する講演が含まれる研修会・講習会への参加 (5単位)

注意1：学術集会、学術大会、研究会は対象外
注意2：講演の主たる内容が心電図検査ではない場合（心エコー図検査、呼吸機能検査など）は対象外
※申請予定の研修会等が更新要件の対象であるか不明な場合は、事務局にお問い合わせください。
（日付・主催・研修会内容・プログラムなど詳細がわかるものを提出していただく場合があります。）
- 4) 実技試験に相当する下記の研修会のいずれかを受講していること。
 - ① 平成30年度認定心電検査技師資格更新研修会（平成30年8月25-26日開催）
 - ② 2019（令和元）年度認定心電検査技師セミナー研修会（旧資格更新研修会）（令和元年8月24-25日開催）
 - ③ 令和元年度以降の日臨技認定心電検査技師資格更新研修会

更新申請手順

会員サイトログイン後、画面右「日臨技会員メニュー」バナーの「認定資格申請」をクリックして、各資格申請の画面にある「入力ガイド」に沿って申請してください。

（または、会員メニューの「認定資格申請」タブをクリックしても同じ申請画面が出てきます）

更新申請期間 令和4年10月1日(土)から11月15日(火)

更新資格審査 更新申請期間締め切り後～翌年1月

認定証発行および認定期間

資格更新申請の翌年の3月中

認定資格の認定期間は、資格更新申請の翌年4月1日から5年間となります。

氏名の公表について

この制度による認定技師は各都道府県、支部において指導的な役割を担っていただくことを目標の一つとしていることから、特に申し出のない限り会報等に氏名を公表いたします。

更新申請及び審査・登録料

5,000円。 ※クレジット払いのみとなります。（延免申請をされる方は必要ありません）

認定更新に必要な資格審査基準単位

- 1) 日本臨床衛生検査技師会会員を継続していること。
- 2) 日臨技生涯教育研修制度の履修を修了していること。
- 3) 認定期間内に下記の①から③において合計30単位以上を取得していること。
 - ① 認定センター主催の認定心電検査技師育成研修会およびセミナー研修会の参加 (10単位)
 - ② 事前登録により認定センターが承認した、認定センター単位承認研修会 (10単位)
 - ③ ①、②以外の心電図検査に関する内容が含まれた研修会または講習会（学術集会は除く）への参加 (5単位)

※③については (1) 研修会プログラム（講演名と講師名が記載されたもの）および (2) 参加を確認できる書類（参加証、押印のある領収書など）の添付が必要です。
（内容により単位が認められない場合があります）
- 4) 実技試験に相当する下記の研修会のいずれかを受講していること。
 - ① 平成30年度認定心電検査技師資格更新研修会（平成30年8月25-26日開催）
 - ② 2019（令和元）年度認定心電検査技師セミナー研修会（旧資格更新研修会）（令和元年8月24-25日開催）
 - ③ 令和元年度以降の日臨技認定心電検査技師資格更新研修会

認定センター御中

認定心電検査技師制度 更新延免申請書

下記の事由により認定更新手続きの延長免除を申請いたします。

- 海外留学、海外勤務、JICA活動などで国内での実務が出来なかった
- 博士課程などの研究等のために実務が出来なかった
- その他、疾病や各種事情により実務が出来なかった

日臨技会員番号 _____

認定証番号 _____

申請者氏名（自署） _____ 印

- ・更新延免を申請する詳細な理由を記載してください
- ・事由に関する書類（コピー可）があれば添付してください

*認定センターにて個別に審議致します

記載に関して相違ありません。

令和 年 月 日
施設長・所属長(役職名)

氏名 _____ 印

*産休、育休中や離職中で証明を得ることが困難な場合はその旨明記してください。

尚、資格更新の延免申請は、連続2回を限度とし、連続して3回の申請および2年を超える延長の申請は認められません。また、更新延免期間中は認定資格名の使用を禁止されます。

認定センター用コメント記入欄

採決 可 否